



霧が丘

令和8年7月17日
横浜市立義務教育学校
霧が丘学園
校長 根岸 淳

よーし、やってみよう！
すすんで挑み自分をみがく夏 2026

校長 根岸 淳

新年度がスタートして3か月半。早くも(!?)夏休みがやってきます。



4月「きりたまタイム 新入生を迎える会」では、新年度初めて霧が丘学園全児童生徒(1年生～9年生)が一同に会し、新入生を歓迎するとともに、全校みんなで入学・進級という大きな節目を自覚し、「よーし、やってみよう!」の掛け声で新たな学校生活をスタートしました。

そして今、夏休みという長期休業を前に、4月から始まった学校生活の一つの節目を迎えています。個人面談では、一人ひとりが自分の取組みを振り返る機会もありました。みなさんは、進級という節目の「チャンス」を生かし、すすんで挑み自分をみがく「チャレンジ」、そして自らの成長を実感する「チェンジ」ができたでしょうか。このプロセスに大きいも小さいありません。大きな一歩を踏み出すのも素晴らしいし、小さな半歩を積み重ねることも大切です。一人ひとりが自分らしく、「自ら気づき、考え、行動する」ことに価値があります。そして、その一歩を応援する合言葉は、「よーし、やってみよう!」です。

私はみなさんと共に学校生活を過ごす中で、確かな成長を感じています。新1年生は学校生活に慣れ、前向きに授業に取り組めるようになりました。進級7年生は服装だけでなく、気持ちの面(内面)でも、中学生らしく成長しています。最高学年9年生は、すっかり霧が丘学園の顔となり、6年生も小学部のリーダーとして活躍しています。他の学年も、授業や行事等を経験し、それぞれに成長を重ねています。

また、各学年の校外学習や中学部体育祭、部活動などでも、「一生懸命はかっこいい!」という姿を数多く見ることができました。自分の役割を果たし、仲間と共に懸命に取り組む姿、自らの目標に向かって挑戦する姿は、とても頼もしく輝いていました。

さあ、夏休みです。

みなさんは、この夏に何をしますか。学習や進路選択に取り組むこと、自然や科学に触れること、健康や安全について見つめ直すこと、スポーツや音楽に打ち込むことなど、可能性は無限にあります。自分自身のことはもちろん、家族、地域、社会、さらには世界や宇宙にまで視野を広げることも楽しいのではないのでしょうか。自分らしい、自己選択・自己決定を心掛け、自ら気づき、考え、行動する夏にしてください。

よーし、やってみよう! すすんで挑み、自分をみがく夏 2026 が始まります。

みなさん一人ひとりのチャレンジを楽しみにしています。そして、全力で応援しています

各学年の活動や、学校からのお知らせを掲載しております。ぜひ、ご覧ください。

<霧が丘学園ホームページ>

URL <https://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es-jhs/kirigaoka/>



QRコード